

は理系の女性が非常に多く、とても驚きました。私と同様に、設計エンジニアを目指す女性の友人達に多く恵まれ、将来を語りあう中で、自分の専攻に対する誇りを培いました。

また視野を広く持てるようになりました。ドイツのスーパーで、飲食をしたり、同僚と話しながらレジを打つ店員の姿に衝撃を受けました。お客様は神様であるとして、常に完璧な接客を求められる日本では見たことのない光景でした。店員さんも人間なのだから、完璧でなくても良いのだと、はっとしました。

日本でも、リラックスして楽しく仕事をできる環境の理解が広まるとういいなあと思います。

様々な学びを得ることができたドイツでの1年間は、私の人生で最も輝かしい日々でした。日独協会の活動に参加をする中で、私のようなドイツ留学を考えている若い世代の背中を押す機会があればと思います。

寺田晶子

皆様はじめまして。この度、大阪日独協会に入会させて頂きました寺田晶子と申します。私がドイツという国を初めて知ったのは、小学校1年の時です。父のところに送られてくる製菓会社の広告が、美しいドイツの風景、建物の絵葉書でした。「いつかこの国に行きたい!住みたい!」という夢を持ち続けました。大学時代にドイツ人のペンパルに初めてフランクフルトで会い、彼女が在学していたハイデルベルクを案内してもらいました。それからお互い訪問しあい、今では手書きの手紙がe-mailになっています。1つ目の夢はかないました。



神戸の青少年合奏団がヒルデン音楽学校の交流をされていましたが、震災後神戸の団員が減り大阪、奈良の子供たちが参加することになりました。指導者の高齢化もあって、私が代表として、窓口になりました。2年ごとにホームステイをして、ジョイントコンサートを開催してきました。当時熱心に協力してくれた子供たちも、大学を卒業し、就職し、それぞれの土地を離れるようになり、団体としての交流は打ち切りになりましたが、今でも親同士、子供同士、個人的にお付き合いは続いています。

娘が1年間ベルリンドイツオペラでアカデミーをし、大学院を卒業後、コブレンツのライン州立管弦楽団に入団したので、行く機会が増えました。今年の夏にフランクフルトで結婚し、ドイツで仕事を続けます。手伝いで呼び出されそうなので、プチ在住できそうです。2つ目の夢の実現も間近です。長いドイツとのかかわりですが、ドイツ語に関しては、単語が少しわかる位のレベルです。若いころに勉強しておくべきでしたが、今では覚えるより忘れるほうが得意です。お仲間に入れて頂きありがとうございます。色々ドイツのこと教えてください。どうぞよろしくお願ひいたします。

Gehard Parzinger

Liebe Mitglieder, vor einigen Wochen bin ich der Deutsch-Japanischen Gesellschaft Osaka beigetreten und möchte mich Ihnen gerne kurz vorstellen. Seit einem halben Jahr arbeite ich nun bei DZGO in Osaka. Ursprünglich komme ich aus Nordrhein-Westfalen, bin aber im Allgäu in Südwestbayern aufgewachsen, ganz in der Nähe des Schlosses Neuschwanstein. Schon immer habe ich großes Interesse an anderen Ländern und Fremdsprachen gehabt. Während meines Geographie-Studiums an der Universität Würzburg und auch später im Berufsleben habe ich insgesamt mehrere Jahre in Frankreich und in der Schweiz verbracht. Nach dem Studium habe ich einige Jahre im Bereich Tourismus, Verkehrsplanung und Mobilitätsforschung gearbeitet. Mit japanischen Freunden habe ich vor einigen Jahren eine Japanreise gemacht, die bei mir einen bleibenden Eindruck hinterlassen hat. So habe ich mich schließlich vor zwei Jahren entschieden, für einen begrenzten Zeitraum an einer Sprachschule in Kyoto Japanisch zu lernen. Dort hat es mir aber so gut gefallen, dass ich meinen Aufenthalt verlängert habe, bevor ich dann begonnen habe, mich bei DZGO für den Austausch zwischen Deutschland und Japan zu engagieren. Ich freue mich darauf, Sie bei der Deutsch-Japanischen Gesellschaft Osaka kennenzulernen!



会員の皆様、私は数週間前、大阪日独協会に加入させて頂きました。ここに自己紹介をさせて頂きたいと思います。

私は半年間から、大阪のDZGOで勤務しております。ノルトライン＝ヴェストファーレン州出身ですが、その後バイエルン州南西部のアルゴイ地方に引っ越し、ノイシュヴァンシュタイン城のすぐ近くで育ちました。私は常に他の国々や外国語に大きな関心を寄せてきました。ヴュルツブルク大学で地理学を専攻し、また仕事の為、フランスとスイスで合計数年間過ごしました。卒業後、私は観光、交通計画、移動調査関連等で数年間働きました。数年前、私は日本人の友達と日本旅行をしましたが、それは私にその後も日本滞在を希望するための素敵な印象を残しました。2年前、京都の語学学校で日本語を勉強することにしました。私は日本・ドイツ間の交流のためにDZGOで働き始めることになりました。

大阪日独協会でごさまとお会いできるのを楽しみにしています!

東良徳一

この度、入会させて頂きました東良(ヒガシラ)徳一です。ほとんどの皆様には「はじめまして」なのですが、何人かの方々には「お久しぶりです」ということになると思います。と言いますのも、ドイツの中でも日本人の人口が一番多かったデュッセルドルフで20年、また、フランクフルトでも3年間仕事をさせて頂いていたものですので、ドイツにお住まいだった方の中には、あまりない「ヒガシラ」という名前を思い出していただけかも知れません。

とは言うものの、勤務先がアングロ・サクソン系の会計・税務・コンサルティングの事務所、仕事は欧州大陸担当だったので、ドイツ語をまともに習ったことはなく、ドイツ語はほとんどできません。赴任当初は日本のバブル経済で日本企業の欧州への新規投資が活発。さらには日本への消費税導入にあたり、欧州各国の付加価値税制の調査のための政府や自治体、各種団体の調査団が数多く来欧。このため、週末も含めて自宅で過ごせたのが、月に10日弱という状況でした。もともと日本のグループ事務所から2年半の研修で欧州に派遣されたのですが、1993年のEU内の国境管理などがなくなる欧州単一市場の発足を見届けたいという希望を出して、欧州駐在を延長。それならばということで、日本の事務所から欧州事務所に転籍。その後、1999年の決済用仮想通貨としてのユーロ導入(現金としての導入は2002年)も見届けた後、欧州事務所を定年退職。

この間、ベルリンの壁崩壊のときには壁を壊すつもりでハンマーを持って行ったのですが、時すでに遅く、西側のペインティングされていた壁の表面はすべてはがされており、しかたなく、東側の白いペンキを塗った壁のかけらを持ち帰りました。

そうそう、勤務先が会計・税務・コンサルティング事務所だったことから、2000年の日独社会保障協定の締結にあたって多少しばかり関与させて頂きましたし、日本とドイツとの間の租税条約の改定の陳情活動もさせて頂きました。ただ、実際に改定されたのは私の日本帰国後の2016年になりましたが。

欧州の思い出の多くは美しいドイツのことです。今後とも美しいドイツのことを忘れないためにも皆様方とのつながりを持ち続けたいと思っています。よろしくお願ひ申し上げます。

藤三郎

大阪日独協会の皆様、初めまして。この度、入会させて頂きました、藤三郎といいます。ドイツとの関わりは、大学の教養課程で第2外国語として、ドイツ語を習ったことに始まります。自分の専門の化学の分野ではドイツは先進国で、有機化学実験のテキストは全部ドイツ語でした。またバッハに魅せられてバイオリンを弾くなど、若い頃の私に



とってドイツはまさに“憧れの国”でしたが、“遠い夢の国”でもありません。

はからずも化学会社に在職中、デュッセルドルフに家族とともに赴任する機会に恵まれました。着任前に、ゲッティンゲンのゲーティンスティチュートで3ヶ月間ドイツ語初級コースを受講しましたが、大学で勉強したドイツ語は、あまり役に立ちませんでした。

デュッセルドルフでは“Musik Freunde am Rhein”というアマチュアのアンサンブルに入りました。クリスマスシーズンには、日独協会主催の日独文化交流会で演奏し、Rheinische Zeitungに“Shöne Japanische Musik”と報道され、大いに気をよくしていたのも、遠い昔の思い出になりました。

当時は、ヨーロッパは東西に分かれていましたが、東欧諸国にも厳重な制約の下に出張や家族旅行で足を伸ばしました。仕事の合間に、第2次大戦中に活躍したドイツ戦車とその戦跡、フェルメールの絵画の追っかけもしていました。仕事は英語で済ませられるのをいいことに、ドイツ語は勉強しないまま、5年半に及ぶドイツ生活をエンジョイしました。

帰国後30年間、旅行に行く以外はドイツとは無縁の生活をしており、ドイツ語はすっかり忘れました。しかし、3年前、ドイツから帰国したばかりの蚊野さんが、「ドイツ大好き!」なライオンズクラブ仲間の同好会「ドイツ会」(日本語でお喋りをしながらドイツビールを飲む会)に入会してこられました。このメンバーと共に、北ドイツを旅行したりしている内に、いつの間にか彼女の独特のキャラクターに巻き込まれ、興味半分でSprachtischに参加したのがきっかけで、再びドイツ語とドイツ文化に接する機会が増え始め、ドイツ語の勉強もぼつぼつ始めました。そして昨年秋、森山靖子さんのピアノデュオ演奏会で、和田さんからお誘いを受け、大阪日独協会に入会することになりました。皆さんよろしくお願ひします。

吉成孝夫

皆さま、はじめまして。このたび入会させて頂きました吉成孝夫です。長年、東京でサラリーマン生活を送ってきましたが、定年後の目標の一つは、ドイツ語会話の習得と、ドイツの戦後史、環境問題等について学び、多少は日独友好のために役立ちたいと思っています。

協会に入るきっかけは、大阪日独協会の語学ゼミに今年の4月から参加させていただいたことです。女性ばかりのクラスですが、皆様とても魅力的な人ばかりです。Frau山根はとても知的な雰囲気を感じさせ、わかりやすい授業を展開してくれる先生です。今年いっぱい、冷や汗と恥をかきながら、日常会話が多少不自由なく話せるようになりたいと思っております。

ドイツ語に触れたのはもう半世紀も前の大学で、アンデルセンの翻訳者・大畑末吉先生の授業でした。その後は、ドイツ語を本格的に勉強する機会はなく、定年を機に5年ほど前から再開したばかりです。

高校を卒業したころはハイネやゲーテを日本語で多少読んだことがあります。その後はエッカーマンの『ゲーテとの対話』は毎年読む

